

兵庫県たつの市

発泡スチロール業界先駆者としての先見性 地元企業・大学を巻込んだ業界活性

発泡スチロール製品量産の先駆けとも言える企業。2002年はりま産学交流会への参加を機に、製品の生産性改善、切削模型を用いた成形品開発ロス最小化などに従事。また医療分野の各専門機関と連携し機能性ビーズクッション、形状記憶式の患者体位固定具やMRI装置内で使用する磁場の歪抑制パッドなどの開発も推進。地元企業・大学との連携による新たな発泡スチロールの用途開発が堅調な売上高へ大きく寄与している。

●所在地	兵庫県たつの市龍野町島田321	●設立	1958年
●電話/FAX	0791-63-1301/0791-63-3106	●資本金	7,500万円
●URL	https://www.tatsuno-cork.co.jp/	●従業員数	58名
●代表者	代表取締役社長 片岡 孝次		



市場ニーズへのスピード対応と新たな市場の創造

発泡スチロールをはじめとする様々な樹脂からできたビーズ法発泡プラスチックを用いて市場のニーズに対応してきた。発泡スチロールの強みを活かして健康・医療分野にも進出しており、健康分野ではリハビリテーション学教授の監修のもと差別化された発泡ビーズを内封した機能性ビーズクッションを開発。医療分野においては軽さや低コスト、ソフトな手触りを実現した固定具をベースに新商品を開発提供している。何れも、全国展開に相応しい高付加価値の商品である。



機能性ビーズクッション

裾野の広い地元企業・大学と、あたり前の見直し

創業当初からの発泡成形品事業では、従来のあたり前を見直し、原理原則に基づいた理論の元必要設備を投入。結果、従来比約3割の省エネ、約15%の成形時間短縮を実現。さらに重要な成形品生産工程の一つとされてきた「強制乾燥工程」を不要化し、原価の低減、省スペース化へ取り組み成果をあげている。加工品事業の加工機では、産産連携により標準機の2倍強の生産能力を達成。地元企業・大学との連携姿勢は、2010年の「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」受賞や社長の「はりま産学交流会」2代目会長としての地域産業活性牽引活動にも表れている。



はりま産学交流会

成長を実感できる全員経営参画企業

地域未来牽引企業、ひょうごオンリーワン企業の選定に恥じぬよう人材育成を実施。具体的には、本人と上司の評価を記入した「気付きシート」を用いた個人面談や社員一人ひとりに代表者メッセージを添えての一時金支給等。また各人が宣言した取組内容の掲示や奨学金返済補助制度など、働きやすい環境・社内の一体感づくりに努め低離職率を維持している。加えて地元小中学生の工場見学の積極的な受入等、地域教育にも貢献している。



地元小中学生の工場見学